

共生社会の実現に向けた JFA インクルーシブプログラムへの協賛について

株式会社みずほフィナンシャルグループ（執行役社長：木原 正裕）は、公益財団法人日本サッカー協会（以下、JFA）が共生社会の実現に向けた取り組みの一環として主催する「JFA インクルーシブプログラム」へ協賛し、本年3月21日に開催されるアジア2次予選 SAMURAI BLUE（日本代表）対朝鮮民主主義人民共和国代表戦からプログラムを開始します。

1. 「JFA インクルーシブプログラム」について

JFA は「サッカーを通じて豊かなスポーツ文化を創造し、人々の心身の健全な発達と社会の発展に貢献する。」を理念に掲げ、年齢や性別、障がいの有無等にかかわらず、誰もが、安心・安全にサッカーを観戦できる環境づくりをめざしています。その一環として取り組むのが本プログラムです。

【主な取り組み内容】

- ・ 障がいのある方、介助者の日本代表戦プレマッチセレモニーへの参加
- ・ 日本代表戦での障がい者席の設置と〈みずほ〉ボランティアスタッフによる運営
- ・ 共生社会の実現に向けた啓発動画の放映 等

以上の取り組みにより、〈みずほ〉は JFA と一緒に日本代表戦での障がい者のスポーツ観戦機会を増大させるとともに社会全体の行動変容を促す施策に取り組んでいきます。



2. 協賛に至った背景

〈みずほ〉は、すべての社員が自分らしく輝ける組織となり、〈みずほ〉に関わるすべての人や社会に新たな価値を生み出すために、ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン（以下、DEI）をグループ体となって推進しています。

本プログラムのめざす姿は、〈みずほ〉が掲げる DEI コミットメントと親和性が深く

共感しています。JFA メジャーパートナーとして、本プログラムを通じ、すべての人々がサッカー観戦を楽しめる環境づくりに寄与したいと、協賛することを決定しました。

今後、本プログラムの対象となる日本代表戦では、障がいの有無を問わず、誰もが日本代表とともにアオイユメをめざすという想いを込めて「BLUE DREAM シート」と名付けた障がい者席が設置されます。

今後も〈みずほ〉は、パーパス「ともに挑む。ともに実る。」のもと、お客さまの挑戦を支え、自らも変革に挑戦しながら、豊かに実る未来に向けてお客さま・社会とともに成長していきます。

以 上

（別紙）〈みずほ〉の DEI コミットメント

〈みずほ〉の企業理念を実現するためには、あらゆる多様性を尊重し、機会の公平性を確保し、そして多様な視点や価値観を日々の業務推進や意思決定に積極的に取り入れる、DEI（ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン）の推進が不可欠です。

〈みずほ〉では、以下の3つの約束を掲げ DEI を推進します。これにより、すべての社員が自分らしく輝き、〈みずほ〉の一員として働くことにやりがいと誇りを感じられる組織となり、〈みずほ〉に関わるすべての人や社会に新たな価値を生み出していきます。

■ 3つの約束

1. 多様性を力に

年齢・性別・国籍・人種・民族・宗教・文化・障がいの有無・性的指向／性自認などの多様な背景・経験・価値観を持つすべての社員が、一人ひとりの個性を「強み」としていかし、自分らしさと能力を最大限に発揮できる組織であること。

2. 自分らしく働き人生を豊かに

柔軟な働き方を推進し、すべての社員がプロフェッショナルとして、そして一個人として、ありがたい姿に向かって、充実感を持ちながら生産的に仕事に取り組める組織であること。

3. 認め合い高め合うカルチャー

会社と社員、そして社員同士が信頼と敬意をもってつながり合い、多様な視点を取り入れ、健全でオープンな議論や、積極的な挑戦ができる組織であること。